

あおぞらだより

Vol.

—2016.6—

たまき青空病院グループのこれまでの歩み

医療法人 明和会理事長 / 田蒔 正治



昭和22年に私の父田蒔孝正が国府町に田蒔医院を開業して以来、地域の皆様と共に、安心して生活できる環境を目指し、地域医療に取り組んでまいりました。昭和57年に私が徳島に帰ってから50床の病院となり、人工透析治療も開始しました。その後、昭和62年に100床に増床し、医療法人明和会を創立しました。

平成6年に「老人保健施設 国府リハビリテーション フェニックス」、「国府フェニックス在宅介護支援センター」を開業し、その後も「まごころ訪問看護ステーション」、「まごころヘルパーステーション」、平成12年の介護保険制度開始とともに「グループホームフェニックス」、「グループホームふれあい」、「ショートステイ阿波っ子」、「サービス付き高齢者向け住宅 阿波っ子」などのさまざまな高齢者介護施設や在宅医療介護関連施設を開設し「地域包括ケアシステム」への十分な対応を築いてまいりました。

当グループの本質的な理念・基本方針として、充実した機能体制と、安心安全な医療を提供するための設備、施設、環境の整備に努め、知識と技術の向上に裏打ちされた良質の医療の提供に励んでまいりました。

平成23年10月に、より一層の良質の医療環境を提供すべく、新築移転を機に、田蒔病院とたまき青空クリニックを統合して、「たまき青空病院」を開設致しました。

災害に強い建物と先進の設備を備え、これまで以上に皆様のご要望にお答えできるものと確信いたしております。又、来年は医院～病院開業して70周年記念となります。

ところでご縁があり、徳島市応神町に「医療法人 昌鸞会 たまき青空クリニック 応神」を開設し、平成27年11月1日より診療業務を開始いたしました。

医療法人明和会 たまき青空病院グループの一員として、人工透析治療を中心に、内科系診療や各種健診を行い、地域の皆様のご要望にお応えすべく、職員一同誠心誠意努力する所存です。

これからも、患者さんの尊厳や意志を大切に心のふれあいのある病院・クリニック・介護施設として、職員一同人格形成に努め、一層の努力を重ねて参りますので、たまき青空病院グループをどうぞよろしくお願いいたします。

病院理念

よりよい地域医療を目指して
すぐれた診療をチーム医療で支え
皆様方が安心して療養に専念していただける
心のふれあいのある病院として
職員一同がその技術の向上と人格形成に
日々研鑽努力致します。

患者さんの権利と責務

1. 個人の尊厳が守られる権利
2. 平等に医療を受ける権利
3. 良質の医療を受ける権利
4. 診療記録等の開示を受ける権利（医療安全の確保）
5. 個人情報を守られる権利
6. 自己決定をする権利（説明と同意の徹底）
7. 診療にご協力いただく責務

着任医師・ 新卒入職者紹介

平成 28 年 5 月より非常勤医師 1 名が着任しました。どうぞよろしくお願いいたします。



ごあいさつ

日本大学医学部附属板橋病院にて初期臨床研修医として勤務し、慶應義塾大学にて腎臓医としての修業をつみ、2年前より徳島大学を中心に活動しています。また、現在も定期的に東京で勤務し、バスキュラーアクセス(透析シャント)手術と外来診療を行っております。

この度、たまき青空病院で勤務する機会をいただきました。私の故郷であるこの地域の皆様に少しでもお役に立てることができれば幸いです。皆様方が安心して療養に専念していただける心のふれあいのある医療を、これからも大切に守りつつ、これまでに学んだことを生かしながら誠心誠意取り組んで参りたいと存じます。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

た まき まさ のり
田 詩 昌 憲

専門分野

腎臓内科・透析療法

経 歴

平成 18 年 日本大学医学部医学科卒業
平成 18 年 日本大学医学部附属板橋病院 初期臨床研修医
平成 20 年 慶應義塾大学医学部内科学講座 内科専修医
平成 22 年 慶應義塾大学医学部腎臓・内分泌・代謝内科学講座 内科専修医
平成 24 年 同 助教
平成 26 年 博士(医学)(慶應義塾大学)
平成 26 年 徳島大学病院腎臓内科学講座 医員
平成 28 年 たまき青空病院勤務(非常勤)

資格・認定

日本内科学会認定内科医
日本腎臓学会腎臓専門医
日本透析医学会専門医

新卒入職者紹介



よし だ あ ゆ み
吉田 亜由未 たまき青空病院
検査部 臨床検査技師
一言メッセージ

まだまだ未熟ですが、早く一人前になれるよう日々努力して参ります。



おお にし もも か
大西 桃香 たまき青空病院
療養病棟 介護福祉士
一言メッセージ

社会人になることは不安もありますが、新社会人として、そして介護福祉士として貢献できるよう精一杯頑張ります。



みち がみ とも お
道上 智緒 たまき青空病院
リハビリテーション部 理学療法士
一言メッセージ

一日でも早く一人前の理学療法士になれるように精一杯頑張ります。



わた なべ かず き
渡邊 和貴 たまき青空病院
透析室 臨床工学技士
一言メッセージ

患者さんに信頼されるような臨床工学技士として、日々精進していきたく思います。ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、これからよろしくお願いいたします。



やま さき たく や
山崎 拓也 たまき青空病院
透析室 臨床工学技士
一言メッセージ

明和会の一員としての自覚を持ち、日々技術向上に努めていきたいです。



しま だ あや の
島田 彩乃 グループホームフェニックス
介護職
一言メッセージ

利用者さんに人生の幸せをお届けできるよう、日々努力していきたくです。

院内活動

新入職員が加わりました。

たまき青空病院およびグループホームに新卒入職者を迎え、3月21日に入職式を行い、3月22日～24日はたまき青空病院グループ各施設にて新入職者研修が行われました。

入職式



新入職者研修

当院の理念やコンプライアンスについての説明を行い、院内各部署を見学。当院およびグループ内各施設も含めて医療・介護職員としてのマナーや接遇、その他様々な研修が行われました。



◆理念やコンプライアンスについての説明会



◆院内各部署の見学



◆たまき青空病院グループ各施設で、接遇等様々な研修を受ける



研修日程（3月22日～24日）

- ～1日目 たまき青空病院にて～
 - オリエンテーション
 - ・たまき青空病院グループ各施設の紹介
 - ・病院理念・方針の説明
 - 院内見学
 - 各講義
 - ・安全管理
 - ・感染管理
 - ・地域連携とチーム医療
 - ・リハビリテーション
 - ・介護職の役割・業務
 - グループホームふれあいへ移動し、入居者へのご挨拶、レクリエーション
- ～2日目 老健フェニックスにて～
 - オリエンテーション
 - ・各部署の案内
 - ・消防関係のフィールドワーク
 - 法令遵守等について
 - ・個人情報保護法
 - ・高齢者虐待
 - 医療・介護職員としてのマナー、接遇
 - 老人保健施設での食事介助の実態
 - 栄養マネジメント等について
 - 介護保険制度と施設の特徴
 - ISO・目標の管理
 - 業務の見学、研修
- ～3日目 阿波っ子・まごころにて～
 - オリエンテーション
 - ・阿波っ子、まごころについて
 - 訪問看護・介護、通所介護について
 - 居宅介護支援事業所について
 - 短期入所生活における看護・介護業務
 - サービス付き高齢者向け住宅における訪問介護
 - 質疑応答

3日間の研修の後、3月28日（月）と29日（火）に行われた、「平成28年度あわぎん新入社員セミナー」へ参加しました。

テーマ：「仕事の心」「マナーの心」について

部署紹介

リハビリテーション部のご紹介

リハビリテーション部では理学療法士13名、作業療法士6名、言語聴覚士3名にて業務を行っています。骨折、変形性関節症、腰痛、スポーツ障害などに対する**運動器リハビリテーション**、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、その他の急性発症した脳血管疾患等に対する**脳血管疾患等リハビリテーション**、慢性閉塞性肺疾患（COPD）等呼吸器疾患に対する**呼吸器リハビリテーション**、心不全等の循環器疾患に対する**心大血管リハビリテーション**のほか、通院が困難な方に対する**訪問リハビリテーション**を行っております。



リハビリテーションとは

リハビリテーションとは、ラテン語でre（再び）—habilitare（適した）という単語で出来ており、直訳すると『再び適合させる』となります。単なる身体の機能回復の意味ではなく、家庭や社会に再び適した形で参加することを最大の目的とした言葉なのです。当院では病気や事故などによって生活に支障をきたした方々に、その方の持ちうる力を最大限活用した生活を再開できるよう支援を行います。リハビリテーションは、以下の三つの治療法で行います。

● 理学療法

運動療法や物理療法（温熱、電気等）によって身体機能の回復や維持、悪化の予防を図り、自立した日常生活に近づけるよう支援します。運動療法は関節可動域の増大、筋力の増強、麻痺を回復させる神経生理学的運動練習などの他に、基本動作（寝返り・起き上がり・起立・歩行）の練習を行います。

● 作業療法

作業療法では、基本的な運動能力から社会の中に適応する能力を維持・改善し「その人らしい」生活の獲得を目標にします。

- ・ 基本的動作能力：運動や感覚・知覚、心肺や精神・認知などの心身機能
- ・ 応用的動作能力：食事やトイレ、家事など、日常で必要となる活動
- ・ 社会的適応能力：地域活動への参加、就労・就学

● 言語聴覚療法

脳血管疾患等による言語障害に対して言語療法を行います。言語療法には失語症による「話す」、「聞く」、「読む」、「書く」側面の問題や構音障害による呂律困難などの症状の改善を図ります。また、咀嚼・嚥下障害に対する治療も行います。



自宅でできる膝体操

膝の筋力増強運動を行うと膝関節の歩行中の安定性が良くなり、関節軟骨を保護し結膜炎を予防・軽減することができます。特に大腿四頭筋（太腿の前面の筋肉）を強化することが重要です。

枕押し運動

- 【方法】・膝の下にまくらをいれて、脚を伸ばして横になります。
・まくらを膝の下で押しつぶし、足を浮かせます。
・その位置で3秒間力を入れ続けます。

【回数】20回を2回繰り返します。



足上げ運動

- 【方法】・片方の膝を立てて、仰向けに寝ます。
・もう片方の脚を上にあげます。
・45°まであげたら、その場所で3秒止めます。
・もとの位置にゆっくりと戻します。

【回数】20回を（左右）2回繰り返します。



椅子に座って膝を伸ばす運動

- 【方法】・椅子に腰掛け背筋を伸ばします。
・片方の膝を伸ばしたまま脚を持ち上げます。
・足をあげたら、その場所で3秒止めます。
・もとの位置にゆっくりと戻します。

【回数】20回を（左右）2回繰り返します。



椅子からの立ち座り運動

- 【方法】・軽く足を開き背筋を伸ばします。
・膝がつま先より前に出ないように膝を曲げます。
・その位置で3秒間力を入れ続けます。

【回数】10回を2回繰り返します。



※転倒のおそれがある方は何かにつかまって行いましょう。
少しでも膝に痛みが出るようならすぐ中止してください。

たまき青空病院 グループ紹介

阿波っ子について

平成23年10月のたまき青空病院新築移転後、たまき青空病院グループの開業地で「ショートステイ阿波っ子」を開設しました。

平成25年8月には旧病院の南館を解体し、「サービス付き高齢者向け住宅阿波っ子」を新築し開所しました。時を同じくしてヘルパーステーション阿波っ子、デイサービス阿波っ子の運営も開始しております。

●ショートステイ阿波っ子

短期間入所して日常生活の世話やレクリエーション、リハビリなどを受けていただけます。また、在宅で介護を受けている方にご利用いただくことで介護をしているご家族の介護疲れの予防や冠婚葬祭、旅行などの際にご利用いただけるサービスです。

- 定員：45床
- 職員数：18名（管理者を除く）
（管理者1名、生活相談員1名、看護職員2名、介護職員14名、機能訓練指導員1名）

●サービス付き高齢者向け住宅阿波っ子

医療や介護と連携し、24時間の見守りや食事の提供など高齢者の安心を支えるバリアフリー構造の住宅となっております。

- 戸数：30戸

●ヘルパーステーション阿波っ子

高齢者住宅のご入居者宅へ訪問し、生活援助や身体介護を提供いたします。

- 職員数：9名（管理者を除く）
（管理者1名、サービス提供責任者1名、訪問介護員8名）

●デイサービス阿波っ子

入浴・食事・排泄などの介護に加え、理学療法士やマッサージ師による機能訓練、レクリエーションや遠足なども実施しております。ご入居者だけでなく地域の要介護者（要支援含む）の方々にもご利用いただけます。

- 定員：1日20名
- 職員数：8名（管理者を除く）
（管理者1名、生活相談員1名、看護職員1名、介護職員4名、機能訓練指導員2名）

他にも、主治医と連携しながら医療面で在宅生活を支援する「まごころ訪問看護ステーション」、要介護（要支援含む）の認定を受けた利用者やご家族の方から相談を受け介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、介護サービス事業所との連絡や調整などの取りまとめを行う「まごころ居宅介護支援事業所」、住み慣れた自宅にヘルパーが訪問し生活援助や身体介護を提供する「まごころヘルパーステーション」も同一建物内がございます。

上記のようにたまき青空病院グループ内のほとんどの在宅介護サービスが集約されており、各事業所間での連帯はもちろん、かかりつけ医療機関や介護保険施設などとの連携も密接に図ることにより、ご利用者やご家族の方に安全・安心な在宅生活を送っていただけるよう心掛けております。

介護についてのお悩みや困りごとがありましたらお気軽にご相談ください。

●お問い合わせ

電話番号 088-678-5553
FAX 088-678-5554



院外活動

介護サービス事業所職員等資質向上セミナーを開催しました

平成27年度徳島県地域医療介護総合確保基金事業（事業名：介護サービス事業所職員等の資質向上事業）の一環として、地域包括ケア体制構築に当たり、職員の知識・技術育成を目的とした研修の機会を増やす必要があることから、在宅での生活支援を行う中軸的役割を果たす介護サービス人材育成を全日本病院協会徳島県支部がセミナーを7回開催しました。当院は、下記の内容で認知症に対する知識の向上を図るためのセミナーを実施しました。

講演日 平成28年2月20日（土）

場所 ザ・グランドパレス

演題 認知症の人から見た世界

講師 城西ビオスクリニック
院長／植村桂次先生

座長 たまき青空病院
理事長／田時正治



この日は県内の各施設より50名以上の受講者が集まり、植村先生の動画を交えた分かりやすい講演を熱心に受講されていました。

とくしまマラソン2016に12名が参加いたしました



去る4月24日、とくしまマラソン2016が開催されました。前日の夜には雨が降り、当日の天候が危ぶまれましたが、朝から見事な快晴で、絶好のマラソン日和となりました。

たまき青空病院グループからは、初心者から熟練ランナーまで12人が参加し、42.195km先のゴールを目指して快走（怪走？の人も^^;）しました。また、恒例の応援団も結成され、ランナーの疲れが出る中間地点付近で一心に応援し、ランナーの後押しをしました。

皆さん、お疲れ様でした！！



たまき青空病院 外来のご案内

平成28年6月1日現在

診療科目	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	田 蒔 滝 下	井 形	石 本	石 本 和 田	田 蒔 飛 梅	田 蒔 飛 梅	滝 下 村 上	滝 下 村 上	石 本 田 蒔	石 本	滝 下 飛 梅	滝 下
糖尿病・内分泌科					田 蒔 (基)	福 本			田 蒔 (基)	田 蒔 (基)	高 士	
泌尿器科	山 本	山 本	山 本	山 本		山 本	山 本	山 本			山 本	山 本
乳腺・甲状腺外科	一 森	一 森	一 森	一 森	一 森	一 森	一 森	一 森	一 森	一 森		
整形外科	兼 松	兼 松	東 野	東 野		兼 松	兼 松	兼 松	兼 松	兼 松		
脳神経外科	里 見	里 見										
消化器内科	大 島	大 島	大 島	大 島	大 島		田 中	田 中	大 島	大 島	大 島 田 中	大 島 田 中
消化器外科	(安藤)	(安藤)					安 藤	(安藤)				
健 診	大 島	大 島	安 藤	安 藤	安 藤	安 藤	田 中	田 中	安 藤	安 藤	大 島	大 島

※「乳腺・甲状腺外科」につきまして、手術・処置のため、診察時間が遅れる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※「乳腺・甲状腺外科」、「泌尿器科」、「消化器外科」を予約なしで午後受診される患者さんは、手術等で診療できない場合がございますので、必ずお電話でお問い合わせください。

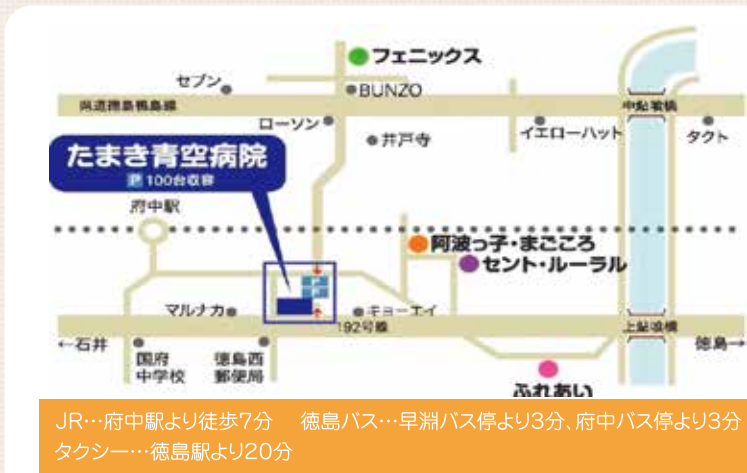
※「消化器外科」の月・木（午後）曜日については予約は行っていないですが、緊急の場合は対応いたします。

※診療については変更する場合がございます。詳細についてはお問い合わせ下さい。

専門外来	医師	曜 日
禁煙外来	山本	月、火（午後）、水、木、土
骨粗しょう症外来	田蒔(基)	水（午前）、金
	福本	水（午後）
物忘れ外来	里見	月
頭痛外来	里見	月
肛門外来	佐藤	土

診療科目

内科、腎臓内科（人工透析）、循環器内科、糖尿病内科、内分泌内科、消化器内科、呼吸器内科、放射線診断科、外科、整形外科、乳腺・甲状腺外科、泌尿器科、脳神経外科、リハビリテーション科、消化器外科、麻酔科



JR…府中駅より徒歩7分 徳島バス…早淵バス停より3分、府中バス停より3分
タクシー…徳島駅より20分

たまき青空病院グループ

- たまき青空病院
- たまき青空クリニック 応神
- 介護老人保健施設国府リハビリテーションフェニックス
- グループホームフェニックス
- 国府フェニックス在宅介護支援センター
- ショートステイ阿波っ子
- サービス付き高齢者向け住宅阿波っ子
- デイサービス阿波っ子
- ヘルパーステーション阿波っ子
- まごころ居宅介護支援事業所
- まごころ訪問看護ステーション
- まごころヘルパーステーション
- グループホームふれあい
- セント・ルーラル保育園



編集・発行

医療法人 明和会 **たまき青空病院**

〒779-3125 徳島市国府町早淵字北カシヤ56番地1

◆ 診療時間 午前／9:00～12:30（8:30～12:30）
（受付時間）午後／14:00～18:00（14:00～18:00）

◆ 休 診 日 日・祝日 ※緊急を要する患者さんはこの限りではありません。

お問い合わせ・ご予約はこちら

Tel : 088-642-5050

Fax : 088-642-6376

<http://tamaki-aozora.ne.jp>

MAIL : info@tamaki-aozora.ne.jp

